

電柱の倒壊防止工

- ◆ 電化柱の地震後の倒壊を防止し列車の走行空間を確保します。
- ◆ 倒壊を防止し、地震後の早期復旧および運転再開を可能とする工法です。
- ◆ H鋼を挿入する簡易な構造のため安価で急速施工が可能です。

概要 想定以上の地震動により既設PC電化柱が損傷した場合の列車との衝突等を防止する対策法として、H鋼等の芯材をPC電化柱の中空部分に挿入し、心材基部をモルタル等で固定するPC電化柱の倒壊防止工法を提案しています。

工費 コンクリート製の電化柱は内部が空洞になっており、芯材を電化柱上部から挿入する方法などにより、比較的容易かつ安価に施工可能です。
 概算工費(150mm×150mmH形鋼、4m建込の場合)
 50万円/本(側道からの作業の場合) 150万円/本(高架橋上の作業の場合)

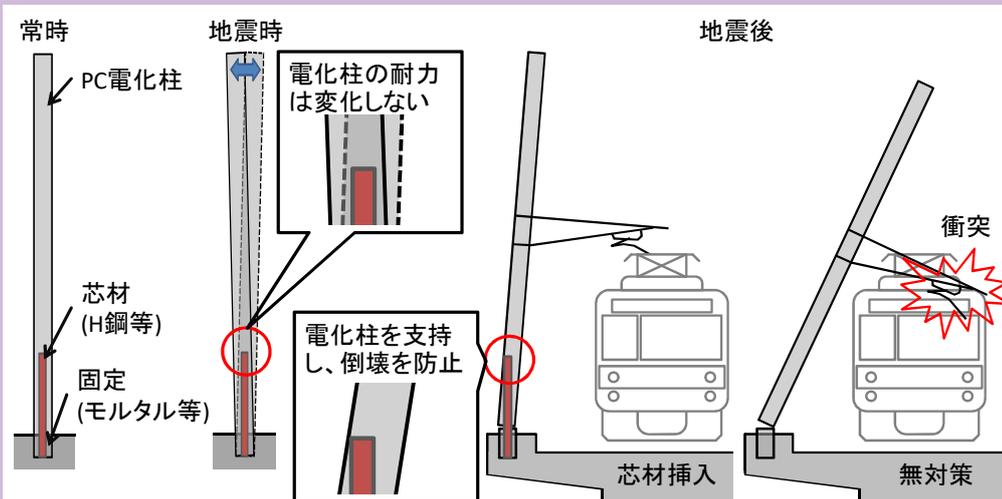


図1 H鋼を挿入した倒壊防止工法の概要



図2 芯材としてH鋼を挿入した例(ウレタンでPC電化柱と心材を一体化)

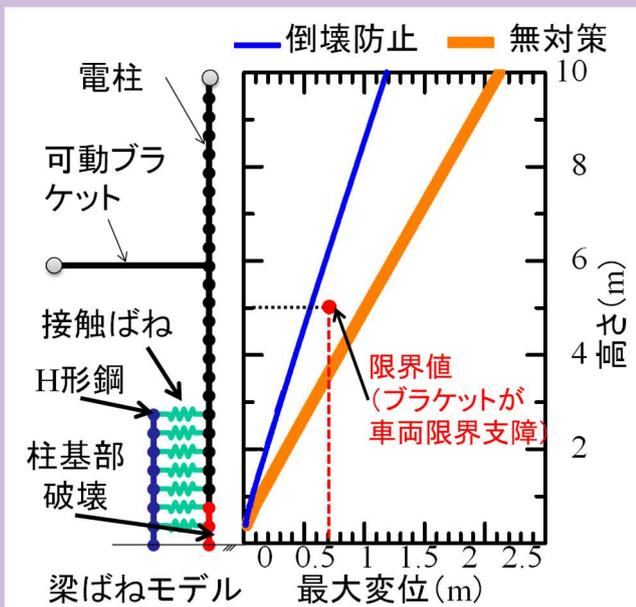


図3 倒壊防止工の効果の検証

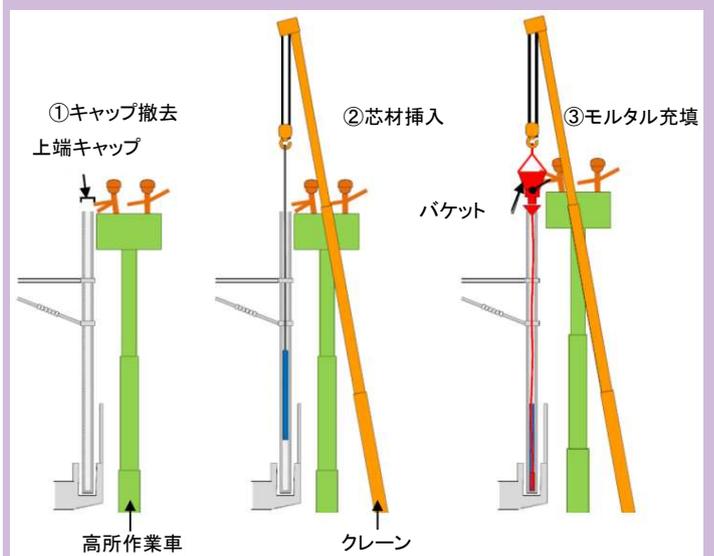


図4 施工手順例(側道からの作業の場合)